

## 第4章 環境教育・学習の推進 <第1節 環境教育・学習の推進>

### ■具体的な行動

<市民>

環境を踏まえた生活や行動を心がけます。

<事業者>

従業員に対する環境教育を推進します。

<行政>

地球温暖化、省エネ、省資源について学校で環境教育を行います。

#### (1) 太田子ども環境ISO (こども課調べ)

「太田子ども環境ISO」は幼児期からの環境教育・環境学習の推進、並びに幼稚園・保育園における環境管理を一体的に推進し、環境活動の普及を図ることを目的としています。

平成17年度に太田市独自の環境プログラムで取組みがはじまり、平成20年度は4年目となり、環境教育のレベルアップのため、環境プログラムの一部を改定し取り組みました。取り組み園は、前年度より4園増え55園となりました。年々環境に対する意識が高まっており各園熱心な取り組みの様子が報告されています。



《太田東保育園の廃材を利用した作品》



《太田いずみ幼稚園でゴミ削減としてマイ箸・マイ茶碗で食事をしている様子》

#### (2) 学校ISO (学校指導課調べ)

太田市教育委員会と学校は、ISO14001 の理念に基づく環境教育を推進し、教職員及び児童生徒が環境問題についてよく理解し、環境に配慮した活動を積極的かつ継続的にできるようにします。そして、地球環境の保全や改善に資することができるようにすることを目的とします。

また、本活動を通して、児童生徒の保護者や地域住民も含めたすべての人々が環境問題を理解し、環境に配慮できるようにすることも目的とします。

学校ISO14001の主な活動(4つの柱)は、以下のとおりです。

##### ① 日常の生活等における環境活動 (エコ)

地球環境の保全並びに改善のために、学校内での日常生活や事務等において、電気、水道、用紙、燃料(灯油)を合理的に使用するとともに、ごみの減量を図ることを目的として行う活動です。各学校で、年度ごとの取組目標(計画数値)を定めて取り組みます。

##### ② 授業における環境教育 (教育)

環境に対する豊かな感受性や環境に関する見方や考え方を身に付けさせ、地球環境に対して、よりよい環境を創造するための働きかけをすることができる実践力を培うために環境教育(市内企業による協力授業、尾瀬学校等)の学習を展開しています。各学校では、指導計画、指導内容、指導方法等を継続的に見直し、充実させます。この環境教育が、学校ISO活動の特色であり中心です。授業実施後には、次の指導の改善のために評価記録を残します。

環境教育取組総時数は、およそ小学校の平均で171時間(6年間)、中学校の平均で53時間(3年間)、特別支援学校で157時間、市立商業高等学校で17時間(3年間)、実施しています。

### ③学校の環境設備の管理（設備）

学校の設備で環境に大きく影響を与える可能性があるもの（浄化槽、石油保管庫等）について適正な管理事項を定め、河川、土壌、大気などの汚染を防ぎます。法的要求事項に基づいた管理はもちろんのこと、手順や項目を各学校で定めて、PDCAを行い、これらの設備の日常点検も確実にを行います。

### ④保護者の実態把握と啓発活動（啓発）

このISOの取組が家庭や地域にも広がるように、学校通信や学年通信、保護者会などを通じて、啓発活動を行います。保護者アンケートで保護者の意識や本活動の家庭への広がり具合を把握するとともに、保護者の意見や要望等も取り入れながら本活動を充実したものにしていきます。





市内全中学校で実施する尾瀬学校（H20年度より）

### （3）こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、幼児から高校生までの子供が誰でも参加できる全国組織の環境活動クラブとして、平成7年度に発足しました。環境省が「こどもエコクラブ」事業を通じて、地域における子供達の自主的な環境学習や実践活動を支援しています。

平成20年度は、全国で4,126クラブに184,710人、群馬県で59クラブに2,720人、太田市では5クラブに663人の子供達が登録・活動しました。

### （4）環境を守ろうポスター・作文・標語コンクール

昭和53年度に市制施行30周年記念事業のひとつとして第1回環境月間ポスター・作文・標語コンクールを実施、以来、毎年実施している。平成20年度は、11月9日の環境フェアにて金賞及び銀賞受賞者の表彰並びに入賞作品の展示を行った。

#### 【出品状況】

部門別	ポスター			作文		標語	合計
	小学生 (低学年)	小学生 (高学年)	中学生	小学生 (5,6年生)	中学生	一般	
応募総数	626	1,558	1,735	729	2,512	671	7,831
入賞作品数	26	27	16	22	14	19	124

## 第4章 環境教育・学習の推進 <第2節 環境団体の育成>

### (1) 環境フェアの開催

環境にやさしい暮らしと社会づくりを広く市民にアピールし、環境に対する関心を高めていくため、環境フェア実行委員会構成団体の日頃の環境活動や成果は発表するほか、来場者参加型のクイズ、体験コーナー、ソーラートレイン、ソーラーカー等を設け、見学だけではなく体で環境を体験できるようなイベントを開催した。来場者数は、約 30,000 人。

#### 【主催】

太田市  
太田市環境フェア実行委員会  
： 26 団体

#### 【共催】

太田市産業環境フェスティバル・  
消費生活展実行委員会

#### 【開催日】

平成 19 年 11 月 9 日 (日)

#### 【会場】

太田新田文化会館・総合体育館  
(エアリス) 他



ソーラーカー (TERRA-SUNS)

### (2) 表彰関係

- ①太田市 4 R 運動推進貢献者表彰 個人：4 名・団体：4 団体・事業者 1 社
- ②環境美化推進徳行者表彰 団体：3 団体
- ③環境美化感謝状 1 社

### (3) スーパーエコハウス

- ・環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の一環として建設。
  - ・平成 17 年 3 月竣工。木造 2 階建・延べ床面積：330.42㎡
  - ・太田市城西町 59-4 (PalTown 城西の杜内)
- ※新エネルギー及び省エネルギーを最大限に活用し、エネルギー供給事業者からの商用電力・ガスをほとんど使わない「ゼロエネルギーハウス」を目指す建物です。増加傾向にある民生部門（一般家庭）から排出される CO2 を削減するために、新エネ・省エネ機器及び省エネ住宅の普及啓発を行っています。また環境活動の拠点として活用しています。

#### <導入設備・技術>

- ・高気密・高断熱構造
- ・地中熱利用床下システム
- ・ソーラーウォール
- ・HEMS (ホームエネルギー  
マネジメントシステム)
- ・太陽光発電システム (4.5kw)
- ・高効率太陽熱温水器
- ・エコウィル (ガス発電コージェネ  
レーションシステム)
- ・ハイブリッドソーラー街頭

